

【出生】令和2年度	
年間出生数	483人
養育医療申請児数	17人
低出生体重児数	人

【医療機関】

\*「発達障がい児」の診療等を行っている医療機関リスト(沖縄県発達障害者支援センター)

【乳幼児健康診査】令和2年度

R2	年間実施回数	精神発達障害有所見率	保健相談要経過観察率	スクリーニング
乳児	31	0.6%	0.0%	医師判断/心理士判断/保健師判断  保護者の訴え/会場での観察/課題の実施
1歳児	18	0.2%	49.0%	
3歳児	18	0.0%	8.2%	

【子育て支援サービス】

◆子育て支援センター：  
一般型 1ヶ所  
連携型 1ヶ所

気になる子のフォローの場としての利用：なし  
＜その他子育て支援サービス＞

【個別発達相談】令和2年度

年間回数：58件/年 延べ 147件/年  
担当職種：臨床心理士

【親の会等】

肢体不自由児親の会「カラフル」、沖縄自閉症児親の会「まいわーど」、口唇口蓋裂親の会「シャボン」の会、ダウン症児親の会「びゅあの会」、八重山地区手をつなぐ親の会

\*「発達障がい者に関する親の会・当事者団体等リスト」(沖縄県発達障害者支援センター)参照

【療育グループ】

グループ名	よっこいしょ
対象児(年齢)	未就学児
開催日時	毎月第2土曜日
定員	定員は設けていない
実施場所	石垣市障がい児通所支援事業所ひまわり
スタッフ体制	保育士、臨床心理士、音楽療法士、指導員、他  障害者手帳等を持っていない場合診断書を求める場合がある。

【健診事後フォロー教室】

グループ名	にこにこ教室
対象児(年齢)	1歳6か月健診フォロー児
開催日時	毎月第2火曜日、または第3火曜日
定員	10組
実施場所	石垣市健康福祉センター
スタッフ体制	保健師7名 保育士1名 保育補助1名 臨床心理士1名

【移行支援】

【移行支援】  
事後教室終了後保護者が自主的に親子教室を希望して移行できた。

【相談支援事業所】指定障害児相談支援事業所 12ヶ所

【療育の利用にあたり必要な手続き】  
医師の診断書：求めている  
診断書以外：心理士の意見書・心理判定書等/特別児童扶養手当/障害者手帳(療育・精神)

【療育】

児童福祉法による障害児通所支援		それ以外の通所支援			
児童発達支援	医療型児童発達支援	保育所等訪問支援	親子通園	単独通園	その他
0ヶ所	5ヶ所	0ヶ所	0ヶ所	0ヶ所	0ヶ所

【自治体の実施する取り組みや研修】  
発達障害児の療育については、それぞれの事業所の工夫に任せている

【気になる子がいた場合に紹介できる支援機関】あり  
主な機関名：石垣市すこやか相談窓口

【幼児教育・保育施設での独自の取り組み】

【療育機関と保育所・園の併行利用】

①公立 ②認可  
③小規模認可園 人  
④認定こども園 2人  
⑤認可外 人 ⑥幼稚園 1人

【保育所】※( )内は療育機関を併用している児の数

公立	認可	小規模認可	認可外	認定こども園	自治体独自の指定園
3ヶ所	19ヶ所	14ヶ所	14ヶ所	3ヶ所	0ヶ所

【障害児保育】

実施園数：9ヶ所  
実施人数：22人

＜診断書以外に必要な手続き＞  
医師の診断書：求める場合がある  
診断書以外：心理士の意見書・心理判定書等/障害者手帳(療育・精神)

【通常保育中の気になる子を把握する仕組み】  
園内会議等で発達支援児を把握し、全職員で対応にあたる

【気になる子がいた場合に紹介できる支援・機関】  
石垣市すこやか相談窓口

【施設支援・巡回支援】

＜対象施設＞

＜必要な手続き＞

＜対応職種＞

【自治体の実施する取り組みや研修】  
発達障害児の支援については、それぞれの施設の工夫に任せている

【認可外保育園の気になる子を把握する仕組み】

＜認可外保育施設の発達障害に関する研修＞  
研修の情報提供

【障害児保育から幼稚園や小学校へ繋げる取り組み】

【保育園での気になる子を幼稚園や小学校へ繋げる取り組み】

【就園・就学】

【放課後児童クラブ】令和2年度

補助金交付対象児童数	ヶ所
障害児受入学童数	ヶ所
「障害児受入推進事業」実施学童数	ヶ所
「障害児受入強化推進事業」実施学童数	ヶ所

保健師の意見書による個別支援(訪問、電話相談等)

【障害者相談支援事業】  
 ●委託相談事業所 (3ヶ所)  
 指定相談支援事業所 むゆる館  
 ゆにばいしがき  
 相談支援事業所 やふあてい

●基幹相談支援センター  
 設置 : あり  
 【巡回支援専門員整備事業】  
 現在、実施している  
 社会福祉法人 石垣市社会福祉協議会へ委託、保育所  
 等訪問回数23回、対象児62名、巡回先13回

【発達障害児者及び家族等支援事業】  
 現在、実施している  
 合同会社おんかんやえやまへ委託、年1~2回の開催並  
 びにペアプロ紹介講座を予定している。

- 【児童支援・保護者支援・教師支援に向けた取り組み】
- ・ソーシャルスキルトレーニング (SST) :  
 必要性を感じているが、運営面 (予算、人材等) に課題がある (保健教育/福祉)
  - ・ペアレント・トレーニング:  
 必要性を感じているが、運営面 (予算、人材等) に課題がある (保健教育/福祉)
  - ・ペアレントプログラム:  
 現在すでに実施している (委託先名: 児童発達支援事業所 ひっこり) (保健教育)  
 / (委託先名: 合同会社 おんかんやえやまひっこり) (福祉)
  - ・ティーチャーズ・トレーニング:  
 必要性を感じているが、運営面 (予算、人材等) に課題がある (保健教育/福祉)
  - ・ペアレントメンター:  
 必要性を感じているが、運営面 (予算、人材等) に課題がある (保健教育/福祉)
  - ・ピアサポーター (福祉のみ) :  
 必要性を感じているが、運営面 (予算、人材等) に課題がある

【各機関の相互連携】  
 発達支援に関する行政内での連携会議等

名称	頻度	参加部署等	検討内容

【発達障害に関する窓口の周知方法】  
 市町村のホームページに掲載/パンフレット等を作成

【発達障害の相談対応】

【災害時支援に関する今後の取り組みや課題】  
 他部署との連携と情報の共有が必要だが、個人情報保護の観点から共有の難しさがあると思われる。

【新型コロナウイルス感染症対策に関する発達障害児の支援】  
 ペアプロについては、委託費の中で感染対策の備品や消耗品等を購入してもらっている。

【高齢期の発達障害児支援に関する取り組みや課題】  
 特になし

【独自事業や取り組み】  
 石垣市健康福祉センターに臨床心理士を配置し、早期の相談対応が行われている。

【発達障害児者支援への取り組み状況や課題】  
 発達障害児者支援に対応できる機関が少ない、マンパワー (専門職) 不足もある。

【幼稚園入園時に発達障害の子どもの把握する取り組み】  
 <状況> ほぼ把握している  
 <把握方法> 幼児教育・保育施設からの引継ぎ(制度化している) / 保護者からの事前相談/関係課からの情報提供/就学相談会(制度化している)

<p>【幼稚園】</p> <p>【特別な支援を要する幼児】 (令和2年度)          自閉症・情緒障害児: 7人          言語障害児: 1人          知的障害児: 14人</p> <p>【加配支援員について】 (令和2年度)          配置: (総数: )人          配置園数: 園          支援対象園児数: 人          採用基準:          配置基準:</p> <p>【加配支援員向け研修会について】 (令和2年度)</p>	<p>【就学相談 (就学支援) について】 (令和2年度)          幼児数: 26人          特別支援学校: 3人 通級指導 4人          特別支援学級: 18人 通常級のみ: 1人          工夫や課題: 発達検査数が年々増加し、検査を行える心理士等の不足がでている。          教育支援についての理解不足によるトラブル (保護者との合意形成が園においてなされていない等)</p> <p>診断書の提出: 求める場合がある (特別支援学校就学に関わる資料の提出)</p> <p>【個別の教育支援計画・指導計画について】          支援の必要な子は、全員作成している</p> <p>【不登校の児童】          取り組みや課題:</p>
--	---

【幼稚園で気になる子の引き継ぎについて】  
 委員会主催で情報交換の場を設けている

【小学校入学時に発達障害の子どもの把握する取り組み】  
 <状況> 一部把握している  
 <把握方法> 幼児教育・保育施設からの引継ぎ(制度化している) / 保護者からの事前相談/関係課からの情報提供/就学相談会(制度化している)

<p>【小学校】</p> <p>【特別支援学級】 (令和2年度)          自閉症・情緒障害学級: 10          言語障害学級:          知的障害学級: 12</p> <p>【通級指導教室学級総数】 (令和2年度)          自閉症対象:          注意欠陥多動性障害対象:          学習障害対象:          言語障害対象:          情緒障害対象:</p> <p>【加配支援員等について】 (令和2年度)          配置: あり (総数: 26人)          配置校数: 12校          支援対象児童数: 71人          採用基準: なし          配置基準: なし</p> <p>【加配支援員等向け研修会について】 (令和2年度)          あり</p>	<p>【就学相談 (就学支援) について】 (令和2年度)          児童数: 95人          特別支援学校: 7人 通級指導 26人          特別支援学級: 55人 通常級のみ: 6人          工夫や課題: 教育支援の理解不足 (保護者、学校) 一園、学校への説明会を実施。          ・申請数の増加に伴う、予算、心理士不足          ・通級判定の児童の増加に伴い、通級担当者の不足          ・保護者との合意形成</p> <p>診断書の提出: 求める場合がある (特別支援学校就学に関わる資料の提出)</p> <p>【個別の教育支援計画・指導計画について】          支援の必要な子は、全員作成している</p> <p>【不登校の児童】          把握していない          取り組みや課題: 一部把握している児童もいる。(不登校支援担当や、学校からの情報により)</p>
--	---

【小学校で気になる子の引き継ぎについて】  
 個別の教育支援計画を引き継ぐよう助言している/担当者同士で引き継ぐよう文書等で促している (中学校区単位で引継ぎを行っている)

【中学校入学時に発達障害の子どもの把握する取り組み】  
 <状況>  
 <把握方法>

<p>【中学校】</p> <p>【特別支援学級】 (令和2年度)          自閉症・情緒障害学級:          言語障害学級:          知的障害学級:</p> <p>【通級指導教室学級総数】 (令和2年度)          自閉症対象:          注意欠陥多動性障害対象:          学習障害対象:          言語障害対象:          情緒障害対象:</p> <p>【加配支援員等について】 (令和2年度)          配置: (総数: )人          配置校数: 校          支援対象児童数: 人          採用基準:          【配置基準について】</p> <p>【加配支援員等向け研修会について】 (令和2年度)</p>	<p>【就学相談 (就学支援) について】 (令和2年度)          生徒数: 21人          特別支援学校: 1人 通級指導 6人          特別支援学級: 8人 通常級のみ: 6人          工夫や課題:          診断書の提出:</p> <p>【個別の教育支援計画・指導計画について】</p> <p>【不登校の児童】          取り組みや課題:</p>
--	--

【中学校卒業後の引き継ぎについて】  
 ●高等学校:  
 ●高校以外の進路先 (就労支援も含む):

高等学校・特別支援学校・就労 等

【成人の発達障害者に対する支援】  
 特になし  
 【発達障害者の可能性が疑われる (未診断) の方への対応】  
 傾聴し、関係機関やサービスとのつなぎ  
 【就労機関に繋ぐ際の工夫点や課題】  
 本人の状態を就労先 (特に一般就労) につなぐ時はナカボツとの連携をしっかりと行う。

【自治体で行っている特別支援教育に関する研修会について】  
 研修名/対象/年間回数/形態

【市町村独自で巡回支援】  
 利用する事業や制度:  
 対応している職種 (人数):  
 支援対象となる校種:  
 支援の対象者と内容:  
 必要な手続き:

【教育研究所や青少年センター等市町村独自の機関との連携について】

【公立学校以外の通学児童の把握及び支援】

【特別支援教育を進めるにあたり市町村独自で取り組んでいること】

【特別支援教育に関する説明会の対象者と時期、目的、内容】

【発達障害に関する高校受験の配慮事例】